

◆ '21 ミス日本「海の日」の吉田さんに聞きました①

今年、開催された『第53回ミス日本コンテスト2021』で、ミス日本「海の日」に群馬県出身の大学生、吉田さくらさんが選ばれました。

吉田さくらさんにミス日本「海の日」としての活動や抱負について語っていただきました

ミス日本「海の日」に選ばれて

皆さまこんにちは。吉田さくらです。ミス日本「海の日」として、名前を呼ばれ、スポットライトを浴びたあの瞬間は今でも忘れられません。驚きとともに「海の日」を受賞した喜びが込み上げ、不思議な感覚でした。群馬県に生まれ育った私にとって、海は特別な場所です。群馬県には海がないため、幼少期の頃は、家族で少し遠出をして、茨城県大洗の海に出掛けたことがとても印象深い思い出です。

また、ミス日本に挑戦するにあたって、心を落ち着かせるため、自分と向き合うために選んだ場所も海でした。緊急事態宣言の規制がない時期に、三密を避けられる石川県の千里浜なぎさドライブウェイを走ってもらい、とてもスッキリした気持ちになりました。日常生活のなかで海を見る機会がなかった分、海への想いは人一倍あり、このミス日本「海の日」という役割をいただけたことには、何か特別な意味があると確信しています。そして、約半年間、共に切磋琢磨したミス日本ファイナリストの分も責任を持って、責務を全うすることを誓いました。

海についての深い知識の学習はこれからですが「海の日」として、まずは自分自身が海洋・海事産業について、また海を支えてくださっている方々の活動について積極的に知ることから始めたいと思います。

「海員だより」